

仙台市若林障害者福祉センター 「防犯講座」を開催しました

令和2年8月27日

仙台市若林障害者福祉センター

令和2年8月27日（木）、仙台市防犯協会連合会の本田勉事務局次長様を講師として招聘して、当センター3階研修室大にて「防犯講座」を開催し、延べ8名が参加されました。

宮城県内の犯罪件数、空き巣、振り込み詐欺について、事例とその予防・対策を以下のように説明していただきました。

昨年の犯罪件数・被害額は、宮城県 102 件・1 億6千万円、仙台市 70 件・1 億1千万円、若林区13件であった。若林区の犯罪発生率は低いが、空き巣、自転車の盗難件数が多く、鍵の未施錠が多い傾向にある。普段から危険な目にあうことがある交通事故等は、注意力が養われるが、防犯については、被害にあうまで意識が働き難い。予防・対策としては、普段から家・自転車等に鍵をかける、人の言うことを鵜呑みにせず、詐欺の可能性について考えてみる、電話は留守番電話にしておく等、防犯力を高めていくことが大事である。

アンケートでは、特に参考になったと思うこととして、防犯力が大事なことが分かりました、用心することが重要等の感想がありました。

当講座をきっかけとして地域のつながり、防犯意識が高まり、犯罪被害が減っていくことを期待します。また、今後もこのように地域の皆様の関心のある講座を開催していきたいと思います。

